

## ■ 市長から市民のみなさんへ

市長 白井 博文



### ■ 文化会館の館長が決まりました

更なる市民文化の高揚と芸術文化の創意・発信を目指して文化会館の館長を公募していましたが、この度、教育関係者ら5名の面接を経て、3月末で定年退職した館長の後任に、市内にお住まいの音楽家・廣田由美さんが就任されました。市の芸術顧問をお願いしている田村洋先生（音楽家。県立大学教授）も、これまで以上の協力を約束してくださっています。廣田新館長にもぜひ、図書館改革に全力投球の津田館長に負けられない活躍を期待したいところです。

### ■ 市職員の採用計画を策定しています

平成21年度は、中途採用・新規採用を含めて、市長部局等13名、消防本部4名、病院局14名、水道局2名の合計33名の職員を採用しました。それでも退職者が定年を含めて68名ありましたから、年度当初より35名減となりました。合併直後の平成17年4月1日現在の職員数1,091名と比較すると、減員は241名となり、削減率は22.1パーセント。県下で一番です。もっとも、補充を控えているため、他市と比較し職員の平均年齢が上がり、それに伴い平均給料月額も上がってきています。大量退職はまだまだ続きます。予算総額に占める人件費割合の適正化を念頭に置きつつ、本市ではそろそろ、若手職員の年次の補充を考えるべき時期に来ているように思います。

### ■ 「高校サッカーフェスティバル」が開かれました

来年秋には「山口国体」と身障者スポーツ「山

口大会」が開かれます。本市ではサッカー（少年男子）とゴルフ（少年男子）を引き受けていますが、サッカー女子と軟式野球の一部も実施されます。その国体少年男子サッカーの前哨戦ともいべき恒例の「高校サッカーフェスティバル」が、去る3月20日から4日間、県立おのだサッカー交流公園を中心に展開されました。参加校は京都以西の47校。約1,700名の選手・監督等が本市に来訪され、いくつかの会場に分かれて熱戦を繰り広げました。特に小野田地区の東沖にあるおのだサッカー交流公園の3面のうち2面は、人工芝の敷設が完成したばかりで<sup>いささ</sup>些か不安もありましたが、選手・監督のみなさんから評判が良く、ホッとしました。



▲県立おのだサッカー交流公園ほかで開催された「高校サッカーフェスティバル」。この日が初披露となった人工芝グラウンドでは、地元の小野田工業高校が柏原高校（大阪）との熱戦を3-0で制しました。

対話の日

4月22日(木) 19:00 ~  
高千帆台自治会館